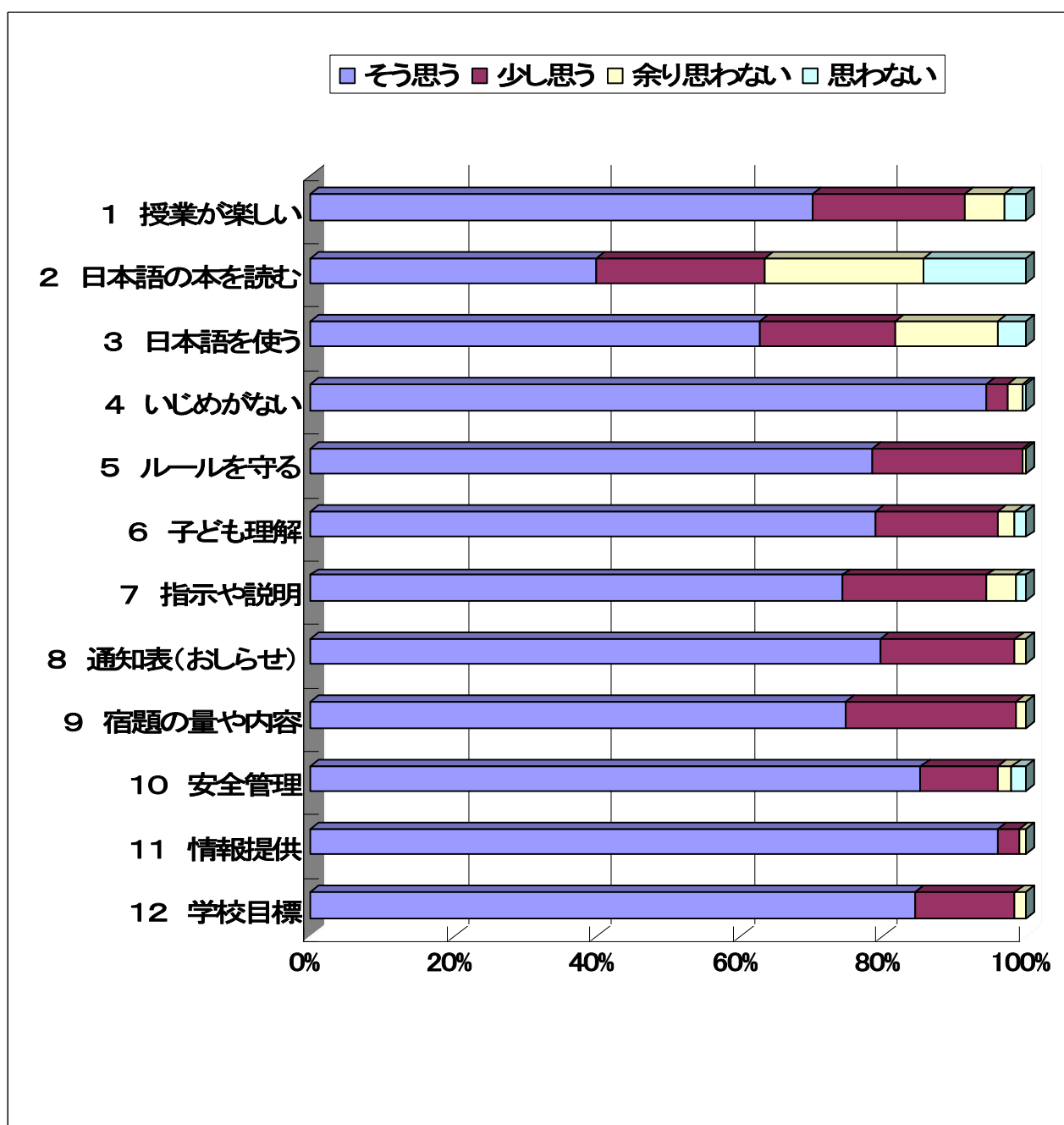


平成28年度 学校教育アンケート 集計結果

アンケートの集計結果をお知らせいたします。家庭数310の内、205件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

以下、全体集計のグラフと項目毎の分析結果及び自由記述への回答を掲載いたします。



設問ごとの集計について

<昨年との比較から見た、今年度アンケートの特色>

①回収率: 家庭数を元にした回収率が66%と昨年度76%を10ポイント下回った。今後は、もう少し早めの準備と周知活動を行います。

②上昇項目: 12項目の内、肯定的評価の合計(「そう思う」+「少し思う」)が上昇したのは2項目(Q5、Q9)と少なかった。一方、積極的肯定評価である「そう思う」の評価では、上昇が6項目(Q2、Q5、Q9、Q10、Q11、Q12)と全項目の半数が改善を示した。今後は、この結果を踏まえて、学校改善に向けた取り組みをさらに進めていきます。

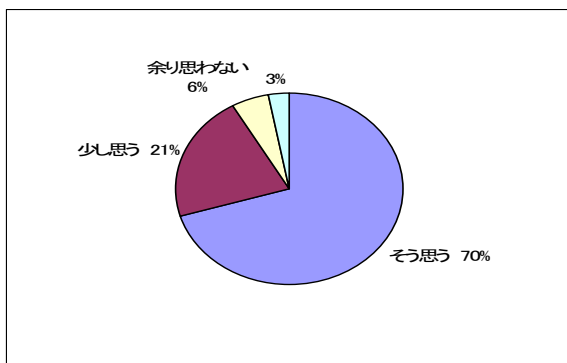
※以下に、アンケート用紙の表面12項目及び裏面2項目について、項目毎のグラフを掲載すると共に分析結果を記述しています。また、自由記述は項目毎に集約して設問と回答を掲載しています。

<学校生活について>

◆ここでの5項目で Q1、Q4、Q5については、肯定的評価の合計(「そう思う」+「少し思う」)が91%以上と高い評価を得ています。Q2、Q3については、肯定的評価の合計が Q2:64%、Q3:82%と昨年同様に他の項目に比べて低く、継続課題の一つと認識しています。それぞれについて分析結果を記述いたします。

Q1:「子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。」

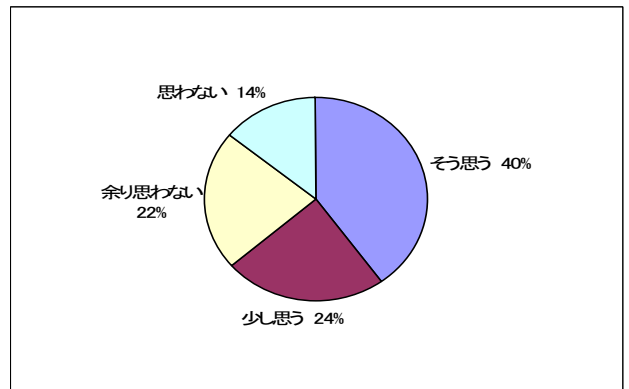
肯定的評価の合計が91%と昨年95%から4ポイントの低下が見られます。子どもたちがわかる授業に向けて、教員のさらなる努力を促して行きます。



Q2:「子どもは、進んで日本語の教科書や本を読んでいる。」

肯定的評価の合計が64%と昨年66%より2ポイント低下が見られます。以下の「例」を含めて様々な手立てを講じて、子どもたちが日本語に興味・関心を抱き、進んで取り組む態度を身につけることができるようにしていきたいと思えます。

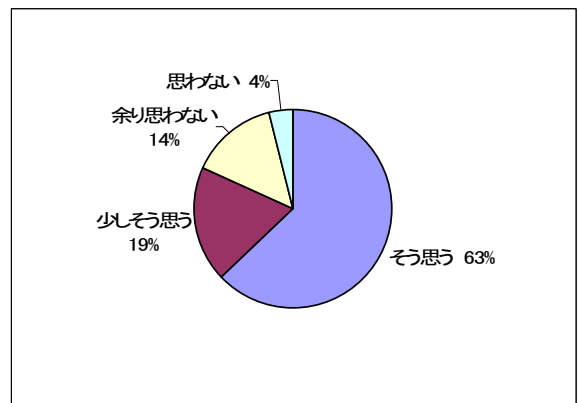
「例」: ①授業開始前や休み時間、昼休みの読書タイムや「読み聞かせ」活動。②授業や宿題での教科書音読の促進。③図書室と連携して本に親しむ企画を考える。



Q3:「子どもは、進んで日本語を使っている。」

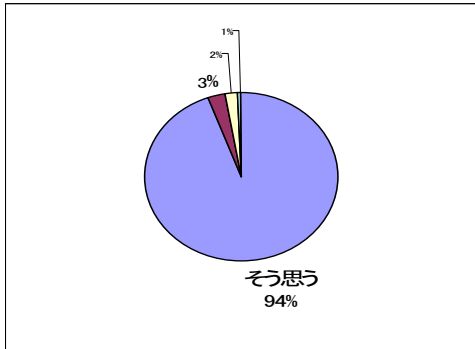
肯定的評価の合計は82%と昨年83%とほとんど変化はないが、他の項目より少し低い値です。この項目についても Q2と同様に、課題を三者が共有し、以下の「例」の取り組みを粘り強く続けていく所存です。

「例」: ①授業中はもとより、休み時間も日本語を使用する。②家庭におけるさらなる日本語環境の充実をお願いする。③掲示等で子どもたちの自覚を促す。



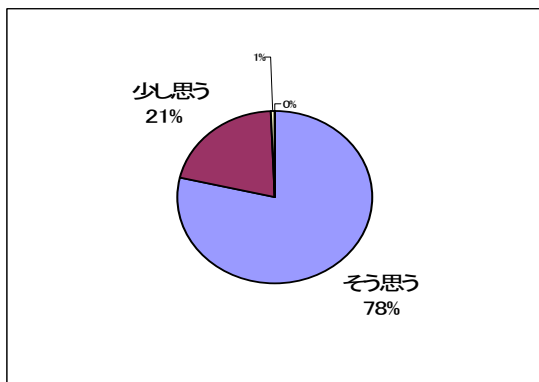
Q4:「子どもは、いじめのない学校生活を送っている。」

肯定的評価の合計が97%で昨年99%より2ポイントの低下がみられます。「思わない」1名、「余り思わない」4名については確認後、適切な対応を取ると共に、今後もいじめのない学校づくりを目指していきます。



Q5:「子どもは社会や学校のルールを守る態度を身につけている。」

肯定的評価の合計が99%で昨年96%から3ポイントの改善が見られます。今後も子どもたちがルールを守る公正な態度が身につくように指導を続けていきます。

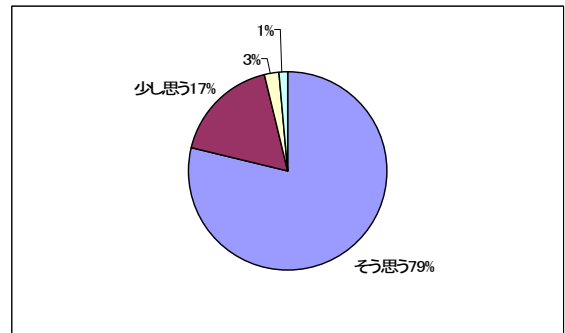


◆ Q6～Q9の4項目は、いずれも肯定的評価の合計(「そう思う」+「少し思う」)が95%前後の高い評価をいただいています。今回、Q7及び Q9について、中・高等部は国語、数学に分けてアンケートを実施しました。

Q6:「教師は子どもをよく理解している。」

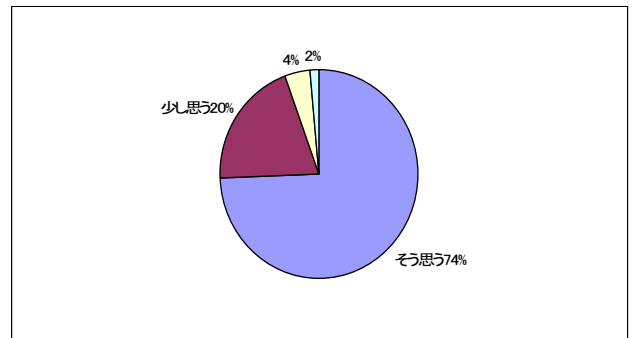
肯定的評価の合計は96%で昨年99%より3ポイントの低下がみられました。補習授業校での子ども理解では、家庭環境や現地校での就学状況と共に日本語能力の伸長を一つの大きな要因として考慮しながら、今

後も一人ひとりの子どもの理解に努め、個に応じた指導を進めていきます。



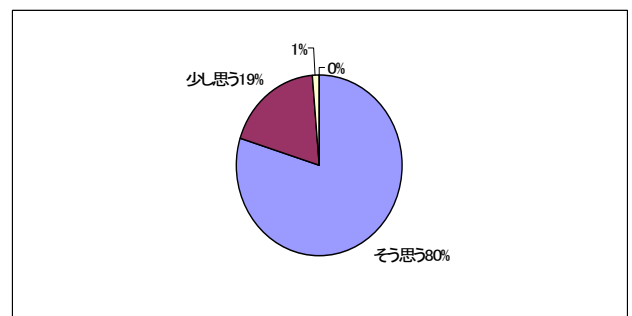
Q7:「教師は、学習理解を深めるために教材を工夫したり、指示や説明をわかりやすくしている。」

肯定的評価の合計は94%で昨年97%より3ポイントの低下がみられました。今後も、分かりやすい授業づくりをさらに進めていきます。中・高等部の国語と数学に分けたアンケートでは、国語の肯定的評価は96%、数学の肯定的評価も96%、と全学年合計との有意な差は見られませんでした。調査結果は今後の指導に役立てていきたいと考えています。



Q8:「通知表(おしらせ)は、子どもの学力や学習の様子をわかりやすく伝えている。」

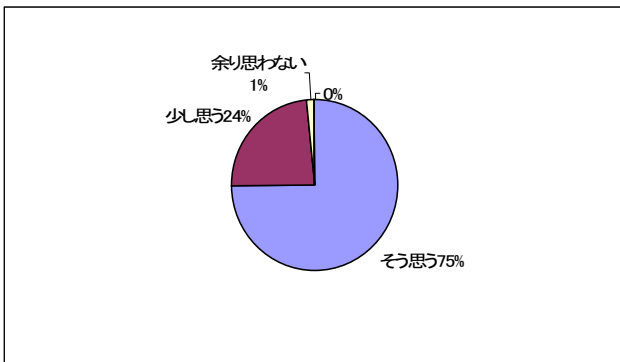
肯定的評価の合計は昨年と同じく99%でした。今後も、分かりやすい通知表(おしらせ)の作成に努力いたします。



Q9:「宿題の量や内容は適切である。」

肯定的評価の合計は99%で昨年の96%から3ポイントの改善が見られます。宿題については個々の子どもの実態やニーズに合わせた対応が必要な場合があります。その際には担任と連絡を十分取り合いながら進めていくようお願い致します。

中・高等部の国語と数学を分けた調査では、国語の肯定的評価は98%、数学の肯定的評価も98%、と全学年合計との有意な差は見られませんでした。調査結果は今後の指導に役立てていきたいと考えています。



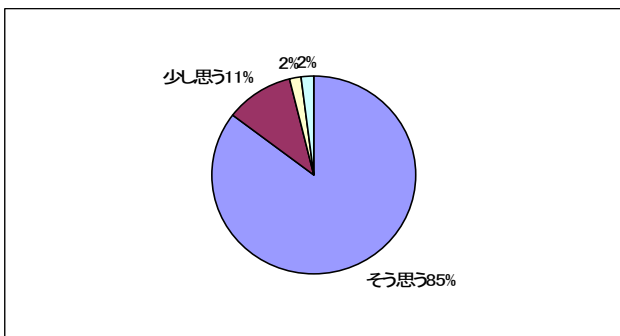
<学校経営に関するもの>

Q10～Q12の3項目は、いずれも肯定的評価の合計(「そう思う」+「少し思う」)が96%～99%と、高い評価でした。今後も、安全管理、情報提供、そして学校教育目標の実現に向けて教職員一同努力して参ります。

Q10:安全管理

「学校は、危機管理や児童の安心・安全対策に力を入れている。」

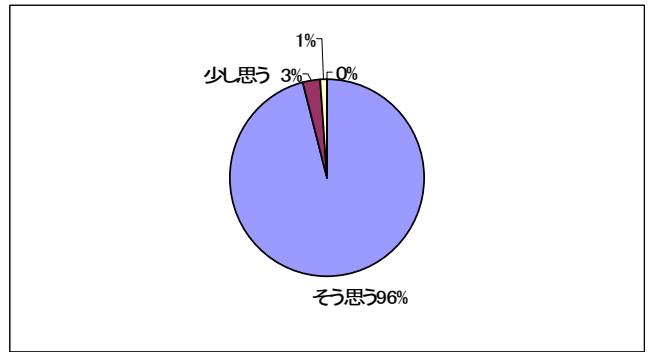
肯定的評価の合計は96%で昨年99%より3ポイントの低下がみられましたが、積極的な肯定評価の「そう思う」は昨年79%から85%へと6ポイントの改善がみられています。



Q11:情報提供

「学校は、授業参観・懇談会、学校だより、ホームページ、メール配信等で、子どもの様子や教育方針等を知らせている。」

肯定的評価の合計は昨年同様99%でしたが、積極的な肯定評価の「そう思う」は昨年92%から96%へと4ポイントの改善がみられています。



Q12:学校目標

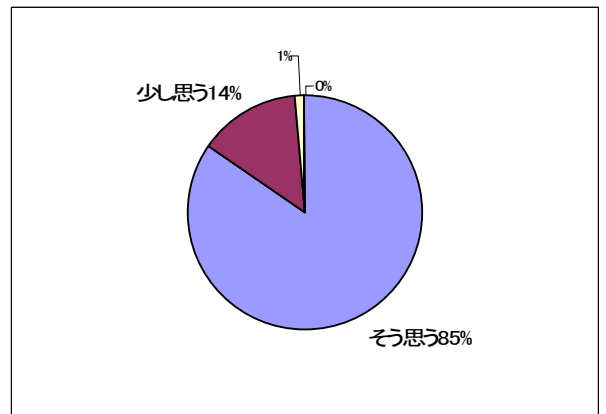
「学校は、学校教育目標を周知し、その実現に向けて努力している。」

肯定的評価の合計は昨年同様99%でしたが、積極的な肯定評価の「そう思う」は昨年の77%から85%へと8ポイントの改善がみられています。

本校の3つの学校教育目標は本校教育を支える大きな柱であると共に、その実現に向けて本校教職員が全力で取り組まなければならない使命でもあります。

<学校教育目標>

- 1 日本語能力を伸長し、学ぶ意欲の旺盛な子どもの育成
- 2 互いに励まし助け合い、健やかな心と体を持つ子どもの育成
- 3 日米両国の言語や文化を身につけた国際性豊かな子どもの育成



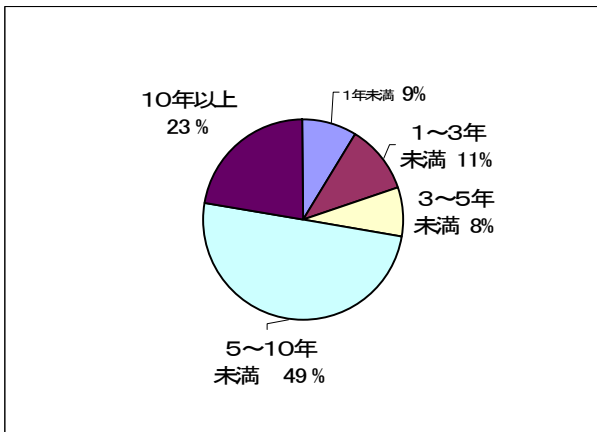
<滞在期間等について>

裏面Q1:「お子さまの今までの海外滞在期間について教えてください。」

「5年～10年未満」が49%、「10年以上」が23%と、5年以上の長期滞在者が全体の72%を占め、昨年度より3ポイント上昇しています。このことは、日本語よりも英語が優位である子どもたちが過半数を超え、さらに増加傾向であることを示しています。

このような状況は多くの米国内の補習授業校においても生じており、日本語力に応じた多様な指導方法を考えることが共通の課題となっています。ただ、「日本語力の格差」がすぐに永住組と帰国組のクラス編制につながることは考えておりません。このような学級編制は過去に実施され、結果としていくつかの課題が生じて元の学級編制に戻した経緯がございます。

今後は、このような実態を踏まえて、多様な子ども達が共生し共育していくことがメリットになるような指導や教材教具の工夫、カリキュラム編成などを研究し、実践していくことが大切と考えます。



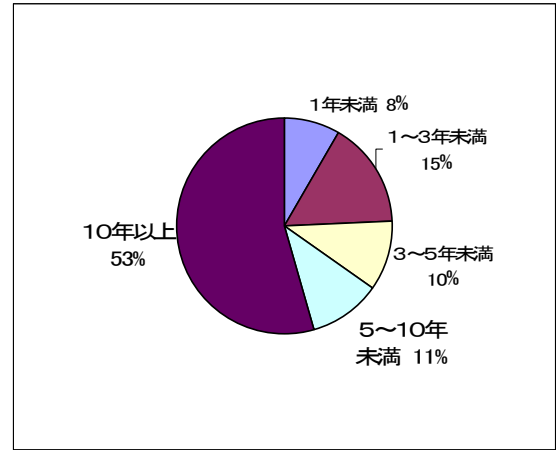
裏面Q2:「お子さまの今後の海外滞在期間について教えてください。」

10年以上が53%と、過半数を占めています。

一方、5年未満が33% (1年未満8% 1年以上～3年未満15% 3年～5年10%)でした。このことは、10年以上の長期滞在者と5年未満に帰国する子どもとの二極化が今後さらに進むことを示唆しています。 → 右上へ

⇒ この結果は、Q2やQ3と共に本校の大きな課題の一つと捉え、今後の学校及び授業の改善に向けた大事な資料の一つとしていきます。

Q2「進んで日本語の教科書や本を読んでいる。」**Q3**「進んで日本語を使っている。」



<自由記述について>

今回のアンケートでも、自由記述欄を設けさせていただきました。全部で58件のご意見が寄せられました。(課題に関する内容21件、感謝やお褒めの言葉37件)

皆様の**ご意見**につきましては、学校改善のための重要な手がかりと受け止めて、全てではありませんが、いくつかのジャンルにまとめて**回答**を掲載させていただきました。

また、感謝やお褒めの言葉も教職員の励みになりますので最後に掲載させていただきました。

<日本語使用について>

ご意見: ▲補習授業校は週1回なので、もう少し進んで日本語を使って欲しい。子どもたちの休み時間の会話が英語になっていることが残念です。

(幼児部、初等部、中等部)

回答→本校の学校教育目標の第一は、「日本語能力の伸長」です。この目標のために補習授業校があるといっても過言ではありません。その意味で、本校で学んでいる間は日本語で過ごすことは当然のこととなります。授業中はもちろん休み時間も日本語で過ごすよ

うに促していきたいと思います。教職員にも指導の徹底を図ると共に、標語「日本語で話そう」等の掲示で子どもたちの意識を高めたり、保護者の皆様にもご協力をお願いしたいと思います。

<授業日について>

ご意見: ▲サンクスギビングとクリスマスの2つの祝日の週は休校にさせていただきたいと思います。

(初等部、中等部)

回答→米国の祝日は本校も同様に休業日にするべきだと考えています。しかし、この両日につきましては様々な検討をしていますが、今のところ借用校との関係や日程の都合で休校にすることは難しいところがございます。年度によって多少の違いはありますが、授業日数確保の観点から、ご理解をお願いいたします。

<授業中の姿勢について>

ご意見: ▲授業中、大きく足を組んだり、ふんぞりかえって座っている姿勢を改善して欲しいと思います。

(初等部)

回答→授業中の姿勢については、確かに日本の学校に比べてリラックスしている様子が見受けられ時があります。補習授業校はあくまでも日本の学校のスタイルで教えるところですので、しっかり指導をして行きたいと思っています。

<登校渋りについて>

ご意見: ▲補習校に初等部1年から行き始めて2年目ですが、最近「補習校に行きたくなーい。」と言い始めました。聞くと、「ずっと座って勉強だから」と言います。時間的に難しいのは理解していますが、日本文化に触れる行事等があると良いと思います。(初等部)

回答→週1回の授業なので国語と算数の授業が中心になりますが、低学年では生活科、3年生以上は社会科学の授業を取り入れて、日本の生活習慣や文化、歴史の学習を行っています。

一方において、年間43回の限られた授業日ではなかなか新たな行事を増やすことは出来ませんが、長い

昼休み(55分間)や児童会・学年行事が年数回計画され、授業以外で少しでも楽しい学校生活を送れる工夫を重ねているところです。

<アンケートについて>

ご意見: ▲学校アンケートを survey monkey などでオンライン化したらどうでしょうか。集計する人の負担も減ると思います。(中等部)

回答→アンケートにつきましては、2年前までは survey monkey を使った形式で実施しておりました。しかし、回収率(54件、18%)が低かったために現在の紙媒体(今回205件、66%)に変更いたしました。ご理解の程、よろしく願いいたします。

<日本語のレベル別クラス分けについて>

ご意見: ▲日本語の能力や保護者の希望を入れたレベル別のクラス分けを要望します。(幼児部)

回答→以前本校において日本語力に応じた学級編制を行った時期がありましたが、数年(4年間)で元の制度にもどりました。その大きな理由は、じっくりコース(日本語力が十分でないコース)の希望者が減り、クラスの維持が難しくなったことと、両クラスの日本語格差が広がるとともに補習校での共存意識が薄れ、学校運営上様々な支障(例えば、一方の組の子どもたちの意欲が極端に低下した。等)が生じたと聞いています。

また、中等部の国語科において「アドバンス及びレギュラークラス」の取り組みが1998年から10年間ほど父母の会が中心となって実施されましたが、9年前に中止になりました。

今回のご意見につきましては、昨年に引き続き今後の検討課題の一つとさせていただきます。

<漢字テストの方法について>

ご意見: ▲漢字テストの方法を初等部1年～3年までの低学年の間は統一して欲しい。(初等部)

回答→普段の漢字テストにつきましては、学級担任に任せているのが現状です。また、漢字確認テストは学年で統一して実施しています。一方、ご意見にありま

す低学年の3学年統一は、子どもの発達段階や新出漢字の数などから、今のところ難しいところがありますが、方法の共通認識は必要かと思しますので、確認をさせていただきます。

<国語の古典が多い>

ご意見：▲国語の授業で古典が多すぎると思います。もっと生きた日本語を教えてもらえたらと言うのが強い要望です。(中等部)

回答→古典については、初等部5年生から学習が始まります。5年は「奥の細道」と「論語」を9ページ、6年は狂言「柿山伏」を14ページ学びます。1冊280ページの中で、5年は3%、6年は5%にあたります。

一方、中等部では、1年は262ページ中24ページ9%で「いろは歌」「竹取物語」「故事成語」を、2年は262ページ中24ページ9%で「枕草子」「平家物語」「徒然草」「漢詩」を、3年は230ページ中24ページ10%で「万葉・古今・新古今和歌集」「奥の細道」を学びます。

初等部から時間数が徐々に増加しますが中3でも全体の1割と、決して多くはありません。古典の世界に親しみ、そのリズム感や物の見方、考え方をすることは、新たな世界観を広げることにもつながります。また、義務教育の古典学習は日本人として是非知っておいて欲しいものばかりであり、補習授業校に通う子どもたちの中には、日本の古典に触れる機会が最初で最後になる可能性も考えられます。以上の事柄を勘案すると共に、学習指導要領に準じて学習する本校では、なくすことの出来ない学びです。

<防犯対策について>

ご意見：安全対策に力を入れるべきです。不審者が入り放題の環境だと思います。(中等部)

回答→確かにパラマス校の行事等の折には、関係者とはいえ不特定多数の人々が入り出できる状況になっています。借用校であるためにやむを得ないところがありますが、担任が教室での子どもたちの安全確保を図り、警備員(現役の警察官)を配置して巡回をお願いしているところです。校長・教頭も校内を巡視しておりま

す。また、借用校の防犯カメラ約100台が作動しています。さらに、扉の開閉につきましては、内側からは安易に開けないように教職員に周知すると共に子ども達にも指導していきます。保護者の皆さまにもご協力をお願いしていきたいと思ひます。

<朝の読書の時間について>

ご意見：▲朝、担任が教室に来る前に読書の時間を設けたらいかがでしょうか。(中等部)

回答→朝の時間の使い方は担任に任されていますが、Q2の「例」でもお答えしましたように、授業開始前や休み時間、昼休み等の読書タイムや「読み聞かせ」活動は、子どもたちの日本語に親しむ方法としてはとても良いアイデアだと思いますので、今後も奨励して行きたいと思ひます。

感謝の言葉 37件

回答→感謝の言葉やお褒めの言葉は教職員にとって大きな励みになると共に明日からの元気にもつながります。

今回皆さまからいただきました貴重なご意見を大切にしながら、子どもたちの笑顔がいっぱいのニュージャーニー補習授業校になるように、教職員が一丸となって努力させていただきます。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<教職員への感謝のことば>

<幼児部>

- ◎とても楽しく通っています。ありがとうございます。教師の方々には、とても子どもを理解して下さり感謝しております。
- ◎先生はお迎えの時に、今日何をしたか、どんな感じの様子だったかを説明して下さり、子どもも幼児部に行くのを本当に楽しみにしており、ありがたく感じております。
- ◎日本語が分かるようになってきたのが嬉しいのか、積極的に文字を読むようになりました。

授業で教わったことを家で反復することもあり、楽しく学習することが出来ています。引き続きよろしくお願いいたします。

- ◎いつも補習校に行くのを楽しみにしています。ありがとうございます。
- ◎昨年度に引き続き、毎週楽しく通わせていただいています。日本のように鉄棒、縄跳び、跳び箱、竹馬などに触れる機会があったらうれしく思います。
- ◎日本語はあまり得意ではないのですが、毎週楽しそうに通っています。習った歌を家で披露してくれたり、自分から進んで平仮名の練習をしたりしています。クラスで読んでもらった本のお話なども覚えていて、先生方が楽しいクラスにしてくださっているんだなと思います。

<初等部>

- ◎毎週壁に掲示してくださる子どもの作品を見るのがとても楽しみです。毎回、貼ったり取ったりする作業が容易ではないだろうと思います。細かい配慮に感謝の気持ちが一杯です。
- ◎先生のご指導のお陰で、毎週土曜日を楽しみに通っています。宿題も最近は自分で「何曜日に、どのプリント」と決めて取り組むようになりました。先生のご指導に心から感謝しています。
- ◎毎週、下と上の子は楽しく通っております。
- ◎クラスの雰囲気がとても良く、友だちとのコミュニケーションでも日本語力の向上が出来ると思います。先生のご指導もとても熱心で、いつも信頼して子どもを預けております。
- ◎期待以上に良くしていただき、とても感謝しています。日本語の勉強の進み具合も、娘によく合っていると思います。
- ◎補習授業校に通い始めてからは日本語を使えることに喜びを覚えた様子で、授業についていけることが自信の回復にもつながりました。いまは現地校も補習校も楽しく通えています。引き続き子どもが日本語を使う喜びが持続す

るようにご指導をお願いいたします。

- ◎自分の学級の先生だけでなくほかのクラスの先生から声をかけてくださるのがすごく嬉しいようです。外で遊べるのをとても楽しみにしています。
- ◎先生の声が大きくよく通り、明るく雰囲気の良い授業でとてもいいと思います。宿題もとても細かくチェックしてくれており、よく行き届いた指導をしてもらい大変ありがたいです。
- ◎楽しく学校に行けているようです。先生は一生懸命やってくださっていると思います。
- ◎毎週楽しんで行ってくれて本当に嬉しいです。これも先生方が工夫して授業を行っているお陰だと思います。宿題は大変ですが親子で一緒に頑張っています。
- ◎クラスの雰囲気が良く、毎週通うことを楽しみにしています。
- ◎子どもの探究心や好奇心を伸ばす良い指導をしていただいていると思っています。
- ◎先生は、一人ひとりの子どもをよく見て個性を受け入れてくださり、クラス全体がとても和やかな空間になっており、感謝に耐えません。教師としても力量を感じます。ありがとうございます。
- ◎週1度の補習校を楽しみにしているようで、子どもの口から1日の様子を聞くことが出来ます。
- ◎担任の先生は的確な学習方法を親にも提案してくださるので、助かります。子どもたちの努力を見て評価してくださるので、子どももやる気を出しやすいです。
- ◎子どもからの受けも良く、宿題も工夫しており、子どもも素直に楽しく取り組んでいる。授業も分かりやすく、子どもを主体にして進められているようで素晴らしいと思う。
- ◎中高等部の生徒が増えるといいですね。
- ◎いつもお世話になり、ありがとうございます。毎週とても楽しく過ごしているようです。

<中・高等部>

- ◎先生方や父母の会がとてもよく活動してくださっていて感謝しています。
- ◎8月から通って、短期間なのにしっかりと娘の様子を見ていただき、アドバイスも頂きとても安心致しました。本当に感謝いたしております。
- ◎授業の工夫等によって、子ども達が楽しく興味を持って参加していることに感謝しております。1時間の授業でもその準備にはそれ以上の時間を費やしていることだと思います。
- ◎担任の先生は、授業内容を連絡してくださり、子どもたちの様子がとても良く分かります。宿題の対応もしてくださるので、現地校が大変になってもなんとか補習授業校を続けられます。
- ◎毎回、丁寧なご指導ありがとうございます。
- ◎いつも楽しく学校に通っています。良い環境を提供していただき感謝しています。先生方も熱心に指導してくださり、子どもたちの成長に良い影響を与えてくださっていると思います。ありがとうございます。

<校長・教頭>

- ◎校長先生、教頭先生、3年間に渡りご尽力くださりありがとうございました。先生方のご指導は子どもにとっても保護者にとってもかけがえの無いものになりました。先日、娘がサボっていた単語の練習をしながら「楽は苦の種、苦は楽の種」と言って反省している様子を見て、先生の言葉が子どもの心に届いていることをとても嬉しく思いました。
- ◎校長、教頭、事務局の皆さんがまめに校内を回ってくださり、親子ともども安心しています。

<補習授業校、父母会等への感謝のことば>

- ◎こうして毎年、調査、改善の努力をなされているご様子。そのコミットメントに頭が下がります。補習校での時間は、学習のみならず心構え、同朋意識、価値観の醸成に大いに寄与していると思います。様々な背景、家族構成を持つ子どもたち、そして保護者が集う学校を維持発展させていただいております。
- ◎学校全体として、子どもを育てる気持ちというか暖かい雰囲気満ちており、其々のスタッフさんや父母の方々が伸び伸びと最善を尽くしておられると感じております。朝の校長先生教頭先生の外での挨拶や、学校便り、廊下での作品展示、漢字や偉人の展示、父母会の様々な催しなど一つひとつの地道な活動がこの雰囲気を支えている気がします。これからもよろしくお願いいたします。
- ◎学校からの連絡や父母の会のサポートも充実しており、この地域に住んでいて良かったと本当に思っています。今後もよろしくお願いいたします。
- ◎作文添削や放課後クラブの充実が嬉しいです。教室以外で日本語に触れる機会があるのが良いです。
- ◎図書が随分と充実して、ありがたく思います。図書をもう少し多く借りたいと子どもが言っています。